



令和7年7月18日
甲府地方気象台

梅雨明けに関するお知らせ

(見出し)

気象庁は、本日(7月18日)「関東甲信地方は梅雨明けしたと見られます。」と発表しました。

(本文)

関東甲信地方では、太平洋高気圧に覆われておおむね晴れています。向こう1週間も、山沿いや内陸部を中心に一時雨や雷雨となるところがありますが、太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。

このため、関東甲信地方は7月18日ごろに梅雨明けしたと見られます。

(注意事項)

梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。

梅雨の時期に関する気象情報は、現在までの天候経過と1週間程度あるいはその先までの天候の見通しをもとに、速報として発表する情報です。後日、春から夏にかけての実際の天候経過に基づいて、梅雨入りと梅雨明けの時期を総合的に検討し確定しています。

(参考資料)

平年の梅雨明けは7月19日ごろです。

昨年の梅雨明けは7月18日ごろでした(確定値)。

今年の梅雨入りは6月10日ごろでした(速報値)。

6月10日から7月17日までの降水量は次のとおりです(速報値)。

(カッコ内は6月10日から7月17日までの降水量平年比)

平年値の統計期間：1991年～2020年

気象官署	甲府	207.5ミリ(118%)		
特別地域気象観測所	河口湖	176.0ミリ(77%)		
アメダス観測所	大泉	270.5ミリ(128%)	富士川	297.0ミリ(165%)
	乙女湖	282.0ミリ(111%)	古関	283.5ミリ(127%)
	韮崎	338.5ミリ(173%)	切石	312.5ミリ(136%)
	勝沼	169.5ミリ(98%)	山中	264.5ミリ(86%)
	大月	178.5ミリ(85%)	南部	472.0ミリ(122%)
	上野原	158.0ミリ		

上野原には平年値がありません。

本件の問合せ先：甲府地方気象台
(TEL 055-222-9101)